

110	款・項・目	4・1・1	目名称	保健衛生総務費	目の決算額	315,337,023	110
	事務事業名称	健康づくり推進事業					
	事業コスト(千円)	23,900	【うち人件費 18,783      うち減価償却費 1,540      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市民及び市域						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 健康づくりに取り組む市民や健康づくりを支える推進員が増え、「健康都市おおぶ」としてまちが活性化しています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合		53.8	/	58	%	
	食事をかんで食べる時の状態が「何でもかめる」人の割合		76.1	/	74	%	
	朝ごはん野菜を「週4日以上食べる」子どもの割合		26.1	/	33	%	
実施内容	1 健康づくりチャレンジ (1) 企業チャレンジ 令和2年度：63社、令和3年度：69社、令和4年度：75社 (2) 一般チャレンジ 令和2年度：557人、令和3年度：461人、令和4年度：376人						
	2 禁煙強化対策の推進 敷地内禁煙：2回 禁煙外来治療費助成：申請者数 令和2年度：29人、令和3年度：7人 ※令和3年度で終了 街頭キャンペーン：5月31日に大府駅と共和駅周辺で実施						
	3 第15回大府シティ健康ウォーキング大会 令和2年度、令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、令和4年度：423人						
	4 あいち健康プラザ健康づくりコース利用料助成 申請者数：令和2年度：2人、令和3年度：39人、令和4年度：49人 延べ利用回数 令和2年度：0回、令和3年度：77回、令和4年度：114回						
	5 大府市健康づくり推進員協議会及び大府市健康づくり食育推進協議会の活動支援 健康づくり推進員数 令和2年度：48人、令和3年度：38人、令和4年度：37人 食育推進員数 令和2年度：30人、令和3年度：28人、令和4年度：26人						
	6 おおぶ健康づくりボランティア養成講座 大府市健康づくり推進員及び大府市健康づくり食育推進員の養成講座を実施しました。 令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和3年度：延べ参加者数168人(講座回数8回) 令和4年度：延べ参加者数59人(講座回数7回)						
事業の評価	妥当性評価	市民の健康づくりを推進するための環境整備は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	子どもの食生活は大人の食生活の影響を大きく受けるため、引き続き保護者への朝ベジ啓発は必要です。					
	効率性評価	企業や歯科医師会等関係機関と協働で実施することで、広く市民に周知することができました。健康づくり推進員協議会及び食育推進協議会の活動支援は、ポストコロナを見据えて、可能な限り通常の活動に近づけるよう内容を見直しました。					
事業費	左の財源内訳						
	2,974,356	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		391,983	0	0	2,582,373		

主要事業No. 1

主要事業No. 1

110	款・項・目	4・1・1	目名称	保健衛生総務費	110
	事務事業名称	健康づくり推進事業			
	事業コスト(千円)				
<p>7 8020表彰・9020表彰  8020表彰者 令和2年度：51人、令和3年度：98人、令和4年度：99人  9020表彰者 令和2年度：3人、令和3年度：6人、令和4年度：9人</p> <p>8 こども料理コンクールビストロおぶちゃん  応募数 令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  令和3年度：574組、令和4年度：891組</p> <p>9 朝ベジの普及・啓発  朝ベジ（朝食での野菜摂取）の健康効果を啓発し、生活習慣の予防を図るため、3歳児健診時に集団朝ベジ指導を実施しました。  対象者 令和2年度：889人、令和3年度：928人、令和4年度：868人</p> <p>10 フッ化物洗口  年長児 令和2年度：889人 実施率97.9%、令和3年度：894人 実施率97.5%  令和4年度：735人 実施率83.5%</p>					

111	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	224,567,423	111			
	事務事業名称	成人健康診査事業								
	事業コスト(千円)	215,899	【うち人件費 17,195      うち減価償却費 3,018      】							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）									
	15歳以上の市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 疾病の早期発見や自身の健康状態を把握し、健康増進を図ることができます。									
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位				
	特定健康診査受診率		59.6	／	59	%				
	大腸がん検診受診率		15.2	／	20	%				
				／						
実施内容	1 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査の実施									
	(1) 集団健康診査（実施回数） 106回 {平日56回、夜間2回、休日3回、人間ドック14回（うち休日3回）、レディースドック31回（うち休日6回）}									
	(2) 個別健康診査（実施機関）：市内医療機関等28か所、JAあいち組合員健康診査									
	(3) 受診者数（単位：人、%）									
	年度	R2年度		R3年度			R4年度			
	実施回数	80回		105回			106回			
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
	国保	11,563	4,782	41.4	11,211	5,808	51.8	10,660	6,354	59.6
	後期	10,842	3,984	36.7	11,241	4,809	42.8	11,757	5,495	46.7
	生活保護	273	23	8.4	265	34	12.8	263	36	13.7
2 健康増進法に基づくがん検診										
がんの早期発見、早期治療を目的にがん検診を実施しました。										
(1) 集団検診（実施回数）：胃（X線） 57回、子宮 43回、乳房 44回、大腸 随時、肺（X線）104回、肺（喀痰細胞診）随時、前立腺 26回、胃ハイリスク 随時										
(2) 個別検診（実施機関）：胃（X線） 2医療機関、胃（内視鏡） 6医療機関、子宮 2医療機関及び2検診機関、乳房 2検診機関、肺（X線）28医療機関										
事業の評価	妥当性評価	高齢者の医療の確保に関する法律により、特定健康診査、特定保健指導は医療保険者が実施することが定められており、大府市国民健康保険加入者などは市が実施すべき事業です。また、健康増進法により市民へのがん検診に関する普及啓発は市が実施すべき事業です。								
	有効性評価	市民の受けやすい健康診査会場が確保できており、生活習慣病の早期発見や予防に有効です。								
	効率性評価	定期的に健康診査やがん検診を受診することで、疾病の早期発見、早期対応に繋がり、ひいては医療費の削減になります。								
事業費	左の財源内訳									
	195,131,911	国県支出金	地方債	その他	一般財源					
		2,718,953	0	94,469,734	97,943,224					

111	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	111
	事務事業名称	成人健康診査事業			
	事業コスト(千円)				

(3) 受診者数 (単位：回、人)

	R2年度		R3年度		R4年度	
	がん検診	(再掲)補助事業	がん検診	(再掲)補助事業	がん検診	(再掲)補助事業
胃(X線)	2,448	-	2,636	-	2,366	-
胃(内視鏡)	-	-	-	-	158	-
子宮	2,617	(19)	2,966	(30)	3,042	(26)
乳房	2,391	(90)	2,604	(84)	2,655	(87)
大腸	3,204	-	3,600	-	3,484	-
肺(X線)	8,748	-	10,821	-	12,071	-
肺(喀痰細胞診)	72	-	81	-	81	-
前立腺	848	-	934	-	951	-
胃ハイリスク	274	-	297	-	249	-
合計	20,602	(109)	23,938	(114)	25,057	(113)

実施  
内容

3 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(国の補助事業：実績人数は前項の表のとおり)

(1) がん検診無料クーポン事業

子宮頸がん検診と乳がん検診の無料クーポン券を以下の対象者に配布しました。

(子宮頸がん検診)対象：20歳の女性 499人 (乳がん検診)対象：40歳の女性 588人

(2) 個別勧奨

がん検診について対象者の方に個別受診勧奨を行いました。 受診勧奨者数19,055人

(3) 精密検査未受診者への受診勧奨

がん検診精密検査未受診者に対し、郵送等にて受診勧奨しました。 受診勧奨者数305人

4 長寿ドック受診料補助金の交付 交付者数 R2年度：37人 R3年度：40人 R4年度：29人

5 成人歯科健康診査

(1) 対象者 20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳

(2) 実績

年度	R2年度	R3年度	R4年度
対象者数(人)	12,656	12,436	12,449
受診者数(人)	787	660	703
受診率(%)	6.2	5.3	5.6

(3) 要精密検査結果の把握(40、50、60、70歳)

要精密検査と診断された111人のうち80人の方が受診しました。

精密検査受診率 R4年度：72.1%(R5年3月末時点)

112	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	224,567,423	112																											
	事務事業名称	成人保健指導事業																																
	事業コスト(千円)	10,640	【うち人件費 8,267      うち減価償却費 680      】																															
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																																	
	15歳以上の市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 市民の健康の保持増進することができます。																																	
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位																												
	ゲートキーパー養成研修延べ受講者数		503	／	490	人																												
				／																														
実施内容	1 ゲートキーパー養成講座 市職員及び市民に向けたゲートキーパー養成講座を実施し、自死対策に関する人材を育成しました。																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td>5</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>5</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>5</td> <td>161</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実施回数	受講者数	R2年度	5	216	R3年度	5	126	R4年度	5	161															
	年度	実施回数	受講者数																															
	R2年度	5	216																															
R3年度	5	126																																
R4年度	5	161																																
2 健康相談 生活習慣病やメンタルヘルス等健康に関する相談に対応しました。																																		
(1) 成人健康相談 (件)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電話</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>24</td> <td>8</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>							年度	電話	面接	合計	R2年度	20	6	26	R3年度	24	8	32	R4年度	16	8	24												
年度	電話	面接	合計																															
R2年度	20	6	26																															
R3年度	24	8	32																															
R4年度	16	8	24																															
(2) 精神保健相談 (件)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電話</th> <th>面接</th> <th>訪問</th> <th>メール</th> <th>他機関との調整等</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td>272</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>65</td> <td>369 (実30人)</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>146</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>180 (実31人)</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>217</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>248 (実30人)</td> </tr> </tbody> </table>							年度	電話	面接	訪問	メール	他機関との調整等	合計	R2年度	272	17	15	0	65	369 (実30人)	R3年度	146	13	9	0	12	180 (実31人)	R4年度	217	6	5	0	20	248 (実30人)
年度	電話	面接	訪問	メール	他機関との調整等	合計																												
R2年度	272	17	15	0	65	369 (実30人)																												
R3年度	146	13	9	0	12	180 (実31人)																												
R4年度	217	6	5	0	20	248 (実30人)																												
3 がん患者のアピアランスケア支援事業 がん患者の医療用ウィッグ及び乳房補整具の購入費を助成しました。																																		
(件)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ウィッグ</th> <th>乳房補整具</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>24</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>							年度	ウィッグ	乳房補整具	R4年度	24	8																						
年度	ウィッグ	乳房補整具																																
R4年度	24	8																																
事業の評価	妥当性評価	自死対策計画に基づき、自死に関する理解を深め、悩みを抱えている人への介入を促すため市が主体となって実施すべき事業です。																																
	有効性評価	ゲートキーパー養成講座を実施することで、全庁的に自死について理解を深めることができました。また、市民と深く関わる方に対しても、ゲートキーパーとは何か周知を広めることにつながっています。																																
	効率性評価	ゲートキーパー養成講座を職員向けと民生委員向けに分けて実施することで、対象者の立場やレベルに合わせた研修を行うことができました。																																
事業費	左の財源内訳																																	
	1,427,431	国県支出金	地方債	その他	一般財源																													
		505,000	0	0	922,431																													

113	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	224,567,423	113
	事務事業名称	介護予防事業					
	事業コスト(千円)	54,579	【うち人件費 22,919      うち減価償却費 3,067      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	65歳以上の市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 要介護状態になることを予防します。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	健康長寿塾参加者数		5,392	/	4,500	人	
	えん下機能が低下している市民の割合		25.9	/	14	%	
	栄養パトロールアンケート回収率		74.6	/	60	%	
実施内容	1 健康長寿塾 地域の運動指導員によるコグニサイズを中心とした運動や脳トレを行う教室を実施しました。 市内4か所(東山公民館、大府公民館、吉田公民館、長草公民館) 期間4月1日~3月31日						
		R2年度	R3年度	R4年度			
	開催回数(回)	84	113	186			
	参加実人数(人)	190	245	258			
	参加延人数(人)	1,924	2,261	5,392			
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は中止						
	2 介護予防教室事業所委託(はつらつ運動コース) 市内5事業所 対象者1人につき12回実施 参加実人数 R2:6人 R3:5人 R4:15人						
実施内容	3 認知症不安ゼロ作戦委託						
	(1) プラチナ長寿健診						
		R2年度	R3年度	R4年度			
	受診者数(人)	920	1,270	1,119			
	(2) コグニノート						
	R2年度	R3年度	R4年度				
配布者数(人)	1,408 (245)	1,640 (282)	1,516 (393)				
( ) 内は74歳以下							
(3) 高齢者の安全運転技能検査							
	R3年度	R4年度					
運転技能簡易検査受診者数(人)	481	587					
事業の評価	妥当性評価	健康長寿塾は運動を主とする教室で、コグニサイズが実践できる場ともなっています。ハイリスク者のフレイル予防や認知症予防を目的とした介護予防事業は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	プラチナ長寿健診の受診者やコグニノート継続利用者は新規要介護発生までの期間が長くなり、介護予防に有効です。					
	効率性評価	プラチナ長寿健診、安全運転技能検査及び食べる機能健診を同時に実施することで、勧奨通知や予約の事務を減らし、コストを削減することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	28,008,081	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	27,404,318	603,763		

113	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	113																																																																								
	事務事業名称	介護予防事業																																																																											
	事業コスト(千円)																																																																												
実施内容	4 食べる機能健診（口腔機能健診） 口腔機能の低下に早期に気づき、口腔状態を整えたり意識したりすることによって低栄養や誤えん性肺炎等を予防するため、プラチナ長寿健診に併せて実施しました。																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数（人）</td> <td>881</td> <td>873</td> <td>1,105</td> </tr> </tbody> </table>						R2年度	R3年度	R4年度	受診者数（人）	881	873	1,105																																																																
		R2年度	R3年度	R4年度																																																																									
	受診者数（人）	881	873	1,105																																																																									
	5 健康教育 寿大学や老人クラブ等に保健師、栄養士、歯科衛生士が出向き健康増進や介護予防について出前講座を行いました。 参加延べ人数 R2：58回実施、1,671人 R3：56回実施、1,262人 R4：78回実施、2,559人																																																																												
	6 コグニバイク コグニバイクを利用してコグニサイズの実施を勧奨しました。																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使い方講習会（回）</td> <td>18</td> <td>随時</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>新規登録者数（人）</td> <td>21</td> <td>35</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>延利用者数（人）</td> <td>1,451</td> <td>1,703</td> <td>1,680</td> </tr> </tbody> </table>						R2年度	R3年度	R4年度	使い方講習会（回）	18	随時	随時	新規登録者数（人）	21	35	29	延利用者数（人）	1,451	1,703	1,680																																																								
		R2年度	R3年度	R4年度																																																																									
	使い方講習会（回）	18	随時	随時																																																																									
	新規登録者数（人）	21	35	29																																																																									
延利用者数（人）	1,451	1,703	1,680																																																																										
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4台のバイクを2台に減らして実施																																																																													
7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（専任保健師の配置）																																																																													
(1) ハイリスク者フォロー事業 プラチナ長寿健診、食べる機能健診、栄養パトロール等の結果から要介護状態のハイリスクな方へ保健師、歯科衛生士、管理栄養士が訪問・電話等により支援しました。（単位：人）																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">R2年度</th> <th colspan="4">R3年度</th> <th colspan="4">R4年度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">実人数</th> <th colspan="3">延人数</th> <th rowspan="2">実人数</th> <th colspan="3">延人数</th> <th rowspan="2">実人数</th> <th colspan="3">延人数</th> </tr> <tr> <th>訪問</th> <th>面接</th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>面接</th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>面接</th> <th>電話</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健師</td> <td>64</td> <td>40</td> <td>6</td> <td>37</td> <td>54</td> <td>26</td> <td>4</td> <td>38</td> <td>66</td> <td>46</td> <td>16</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>歯科衛生士</td> <td>41</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>39</td> <td>41</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>46</td> <td>43</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>63</td> <td>100</td> <td>16</td> <td>49</td> <td>27</td> <td>51</td> <td>11</td> <td>39</td> <td>120</td> <td>125</td> <td>40</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>						R2年度				R3年度				R4年度				実人数	延人数			実人数	延人数			実人数	延人数			訪問	面接	電話	訪問	面接	電話	訪問	面接	電話	保健師	64	40	6	37	54	26	4	38	66	46	16	26	歯科衛生士	41	3	13	39	41	6	4	46	43	7	9	37	管理栄養士	63	100	16	49	27	51	11	39	120	125	40	37
	R2年度					R3年度				R4年度																																																																			
	実人数	延人数				実人数	延人数			実人数	延人数																																																																		
		訪問	面接	電話	訪問		面接	電話	訪問		面接	電話																																																																	
保健師	64	40	6	37	54	26	4	38	66	46	16	26																																																																	
歯科衛生士	41	3	13	39	41	6	4	46	43	7	9	37																																																																	
管理栄養士	63	100	16	49	27	51	11	39	120	125	40	37																																																																	
(2) 栄養パトロール 75歳以上の健診・医療未受診者に管理栄養士が訪問しました。																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問対象者（人）</td> <td>190</td> <td>146</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>把握数（人）</td> <td>150</td> <td>107</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table>						R2年度	R3年度	R4年度	訪問対象者（人）	190	146	173	把握数（人）	150	107	129																																																													
	R2年度	R3年度	R4年度																																																																										
訪問対象者（人）	190	146	173																																																																										
把握数（人）	150	107	129																																																																										
(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業 重症化予防のための保健事業や受診勧奨を実施しました。参加者：23名 受診勧奨：14名																																																																													
(4) 通いの場等での健康教育・健康相談 通いの場へ専門職が出向きフレイル予防に関する健康教育や後期高齢者の質問票によるフレイルの把握を行いました。 健康教育を実施した通いの場：3か所 延べ回数：8回 延べ参加者数：283人 フレイル状態の把握を実施した通いの場：8か所 高齢者の質問実施者数：213人 フレイルの恐れあり：32人																																																																													





115	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	目の決算額	304,352,904	115
	事務事業名称	母子保健指導事業					
	事業コスト(千円)	221,144	【うち人件費 32,772      うち減価償却費 2,117      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 乳幼児及び乳幼児の保護者及び不妊治療をしている市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 妊産婦や乳幼児が安心して子育てができる環境が整っています。不妊治療対象者が安心して適切な医療受診ができるようにします。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	こんにちは赤ちゃん訪問実施率		96.9	／	94	%	
	子育てが楽しいと思えるときに「よくある」人の割合		88.2	／	86	%	
実施内容	<p>1 子育て世代包括支援センター 子育て世代包括支援センターを拠点として、母子健康手帳交付時の面接、妊娠中及び出産後のアンケート等で相談内容を確認し、子育て中の家族に対し切れ目のない伴走型相談支援を実施しました。</p> <p>母子健康手帳の新規交付数 R2年度：889冊、R3年度：864冊、R4年度：813冊 アンケート送付数 R4年度：妊娠中291件（回収率76.6%）、出産後592件（回収率97.1%）</p>						
	<p>2 訪問指導 (1) こんにちは赤ちゃん訪問 助産師又は保健師が家庭訪問をして母子の心身の状態、育児状況等の把握と相談、助言及び指導を実施しました。赤ちゃん訪問での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク、消毒用アルコールを使用し、感染対策を徹底しました。 訪問回数 R2年度：820件、R3年度：817件、R4年度：818件</p> <p>(2) 妊産婦及び乳幼児への訪問 妊産婦や育児支援が必要な母子に対して助産師や保健師、管理栄養士、歯科衛生士が訪問による相談、指導を実施しました。（こんにちは赤ちゃん訪問を含む） ア 訪問回数 R2年度：1,978件、R3年度：1,850件、R4年度：1,826件 イ R4年度の対象者別訪問回数（再掲）妊産婦：838件、乳児：892件、幼児：96件</p>						
<p>3 産後ケア事業 母体の休養及び体力の回復並びに母体ケア及び乳児ケアを実施する産後ケアを医療機関に委託して実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、補助金を活用して市内2医療機関に消毒用エタノールを配布し、事業継続を支援しました。 R2年度：11人 50日、R3年度：7人 33日、R4年度：7人 31日</p>							
事業の評価	妥当性評価	母子保健法の定めにより、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進を図ることと、また妊娠を希望している子育て世代への経済的支援は、市が事業実施すべき事業です。					
	有効性評価	コロナ禍での育児を踏まえ、感染対策を行った上で、産前から産後まで切れ目のない支援が受けられるような環境を市民に提供することができました。					
	効率性評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温や消毒、換気、パーティションの利用などの環境整備を徹底するとともに、OBUパパ&ママサロンはオンラインのみで実施するなどの対応を継続しました。					
事業費	左の財源内訳						
	185,425,606	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		127,071,004	0	15,902,007 (基金14,066,741)	42,452,595		

主要事業No. 140

主要事業No. 140

115	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	115																			
	事務事業名称	母子保健指導事業																						
	事業コスト(千円)																							
実施 内容	4 不妊治療費補助 不妊検査・不妊治療を受けた夫婦に対して、医療に要した費用を対象に補助金を交付しました。																							
	(1) 一般不妊治療(申請数)																							
	ア 不妊検査、不妊治療 R2年度：160件、R3年度：156件、R4年度：108件																							
	イ 人工授精(再掲) R2年度：72件、R3年度：113件、R4年度：66件																							
	(2) 特定不妊治療(申請数) R2年度：90件、R3年度：294件、R4年度：271件																							
	5 不育症治療費補助 不育症の診断を受け不育症治療を受けた夫婦に対して、医療に要した費用を対象に補助金を交付しました。																							
	申請数 R3年度：2件、R4年度：0件																							
	6 ことばの相談 医師、言語聴覚士及び臨床心理士による幼児のことばの発達や発音について相談を実施しました。 利用者数 R2年度：46人、R3年度：44人、R4年度：50人																							
	7 養育医療の給付 未熟児であり、医師が入院養育が必要と認めた児に対し、養育医療の給付を行いました。 R2年度：33件、R3年度：37件、R4年度：32件																							
	8 大府市臨時特別出産祝金 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、大府市臨時特別出産祝金の支給を延長し、出産及び子育てに係る生活を支援しました。																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請数(件)</td> <td>648</td> <td>891</td> <td>723</td> </tr> <tr> <td>支給数(人)</td> <td>653</td> <td>904</td> <td>732</td> </tr> <tr> <td>支給金額(円)</td> <td>65,300,000</td> <td>90,400,000</td> <td>73,200,000</td> </tr> </tbody> </table>						R2年度	R3年度	R4年度	申請数(件)	648	891	723	支給数(人)	653	904	732	支給金額(円)	65,300,000	90,400,000	73,200,000				
	R2年度	R3年度	R4年度																					
申請数(件)	648	891	723																					
支給数(人)	653	904	732																					
支給金額(円)	65,300,000	90,400,000	73,200,000																					
9 大府市子ども未来応援金 国の子育て応援交付金を活用して、大府市子ども未来応援金を創設し、妊娠時と出産後の面接後に、妊婦や子の養育者に応援金を支給しました。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">妊娠</td> <td>申請数(件)</td> <td>951</td> </tr> <tr> <td>支給数(人)</td> <td>951</td> </tr> <tr> <td>支給金額(円)</td> <td>47,550,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">出産</td> <td>申請数(件)</td> <td>572</td> </tr> <tr> <td>支給数(人)</td> <td>579</td> </tr> <tr> <td>支給金額(円)</td> <td>28,950,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支給金額合計(円)</td> <td>76,500,000</td> </tr> </tbody> </table>							R4年度	妊娠	申請数(件)	951	支給数(人)	951	支給金額(円)	47,550,000	出産	申請数(件)	572	支給数(人)	579	支給金額(円)	28,950,000	支給金額合計(円)		76,500,000
		R4年度																						
妊娠	申請数(件)	951																						
	支給数(人)	951																						
	支給金額(円)	47,550,000																						
出産	申請数(件)	572																						
	支給数(人)	579																						
	支給金額(円)	28,950,000																						
支給金額合計(円)		76,500,000																						

116	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	目の決算額	703,998,307	116
	事務事業名称	感染症予防事業					
	事業コスト(千円)	374,076	【うち人件費 15,235      うち減価償却費 1,110      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 感染症のり患を防止し、感染症の蔓延が予防されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	麻しん風しん(MR)第1期接種率		100.4	/	100	%	
	高齢者インフルエンザ接種率		68.8	/	66	%	
				/			
実施内容	1 予防接種法による定期の予防接種の実施(個別接種)						
	(1) 乳幼児 (単位:件)						
		R2年度	R3年度	R4年度			
	ロタ	861	1,934	1,887			
	ヒブ	3,734	3,342	3,223			
	小児用肺炎球菌	3,623	3,332	3,227			
	B型肝炎	2,650	2,463	2,463			
	4種混合	3,719	3,350	3,209			
	不活化ポリオ	3	1	2			
	BCG	933	829	805			
	MR(1期、2期)	1,828	1,788	1,748			
	水痘	1,823	1,689	1,576			
	日本脳炎(1期)	2,954	1,733	3,213			
	(2) 児童生徒 (単位:件)						
		R2年度	R3年度	R4年度			
2種混合	829	862	765				
日本脳炎(2期)	1,043	※1 238	1,294				
子宮頸がん	158	※2 317	531				
キャッチアップ接種 ※3			814				
※1 日本脳炎ワクチンの供給量の大幅な減少により、日本脳炎(2期)対象者への案内を令和4年3月に延期しました。 ※2 令和3年11月に積極的勧奨の差し控えが終了しました。 ※3 積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して、キャッチアップ接種を実施しました。							
事業の評価	妥当性評価	予防接種法により、定期接種は市が実施するように定められており、市民の健康維持のために市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	未接種者に対して接種を勧奨し、接種率向上に努めました。					
	効率性評価	市内医師団と協力して事業を効率よく実施できました。					
事業費	左の財源内訳						
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
	357,297,426	20,081,800	0	14,739,880 (基金14,739,880)	322,475,746		

116	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	116
	事務事業名称	感染症予防事業			
	事業コスト(千円)				

実施 内容	(3) 高齢者 (単位:件)			
		R2年度	R3年度	R4年度
	インフルエンザ	※ 15,049	13,281	※ 14,007
	高齢者肺炎球菌	570	516	439
	※ 新型コロナウイルス感染症発生に伴い、インフルエンザ拡大防止のため、県の補助を受け、自己負担額を無料として実施しました。			
	(4) 風しんの追加的対策 (MR)			
	風しんの感染拡大防止のため、抗体保有率の低い世代の男性に抗体検査、予防接種を実施しました。			
	(単位:件)			
		R2年度	R3年度	R4年度
	風しん抗体検査	1,596	907	459
	風しん	2	0	2
	麻しん風しん混合	343	217	103
	2 任意の予防接種の助成			
	(1) 成人風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチン			
	生命に関わる感染症を予防するためのワクチン接種について、定期接種となっていない任意の予防接種及び風しん抗体検査について、接種及び検査費用を助成しました。			
(単位:件)				
	R2年度	R3年度	R4年度	
風しん抗体検査	92	55	38	
成人風しん	2	1	5	
成人麻しん風しん混合	75	51	45	
(2) 季節性インフルエンザ予防接種の助成				
受験生の学習支援及び重症化予防として、中学3年生、高校3年生の年齢に達する方に対し、接種費用を助成しました。				
R2年度 1,039件 R3年度 799件 R4年度 800件				
(3) 医療行為により免疫を失った場合の定期予防接種再接種				
小児がん等により免疫を抑制する治療を受けた児に対する定期接種の再接種費用を助成しました。				
R2年度 0人 R3年度 1人 R4年度 2人				
(4) おたふくかぜ予防接種の助成				
1歳から2歳未満の方及び年長児を対象に接種費用を助成しました。				
R4年度 1,409件				
(5) 帯状疱疹予防接種の助成				
50歳以上の方に対し、接種費用を助成しました。				
R4年度 780件				
3 広域予防接種				
愛知県内の大府市外の医療機関で定期の予防接種を実施しました。				
R2年度 1,998件 (A類疾病 1,569件、B類疾病 429件)				
R3年度 1,785件 (A類疾病 1,310件、B類疾病 475件)				
R4年度 1,643件 (A類疾病 1,198件、B類疾病 445件)				
A類疾病 : ロタ・ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎・4種混合・不活化ポリオ・BCG・MR・水痘 日本脳炎・2種混合・子宮頸がん				
B類疾病 : 高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌				

116	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	116
	事務事業名称	感染症予防事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	<p>4 予防接種費用の補助  愛知県外で予防接種を実施した場合の予防接種費用を助成しました。</p> <p>R2年度 203件 (A類疾病 166件、B類疾病 37件)  R3年度 183件 (A類疾病 157件、B類疾病 26件)  R4年度 124件 (A類疾病 97件、B類疾病 27件)</p>				
	<p>5 感染症対策</p> <p>(1) 大府市感染症対策本部員会議の開催  市長を本部長とし、感染症に関する情報の集約や感染対策について協議し、市の感染対策方針について協議、決定しました。 開催回数：39回</p>				
	<p>(2) 感染症予防に関する啓発  感染症予防に関する情報について、市公式ウェブサイト等で周知し、感染予防啓発をしました。</p> <p>(3) 感染症対策物品の配布  アルコール製剤、掃除用消毒剤等を市内公共施設等に配布しました。</p>				

117	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	目の決算額	703,998,307	117
	事務事業名称	新型コロナウイルスワクチン接種事業					
	事業コスト(千円)	366,123	【うち人件費 30,852      うち減価償却費 2,464      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 新型コロナウイルス感染症のり患を防止し、感染症の蔓延が予防されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	接種率		58.6	／	50	%	
				／			
				／			
実施内容	1 予防接種法（臨時接種）による新型コロナウイルスワクチン接種の実施 国が定めた対象年齢の市民に対し、ワクチン接種を実施しました。						
	(1) 対象人数 初回接種（生後6カ月以上）：92,900人 追加接種（5歳以上）：89,732人 (2) ワクチン接種回数（1人あたりの回数） 初回接種：5歳以上は2回、生後6カ月以上4歳以下は3回 追加接種（5歳以上）：年齢等に応じて1回（3回目）から3回（5回目）まで (3) 接種人数（接種率） 1回目：68,710人(74.0%)、2回目：68,591人(73.8%)、 3回目（乳幼児3回目を含む）：57,213人(61.6%)、4回目：34,162人(41.5%)、 5回目：15,032人(18.3%)						
事業の評価	妥当性評価	予防接種法（臨時接種）により、市が実施するように定められており、感染症のまん延予防のため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	新型コロナウイルスワクチンの接種を希望するすべての市民へ接種できるよう、速やかに接種体制の準備を行い、接種を実施しました。					
事業費	効率性評価	市内医師団等や関係機関と調整し、ワクチンの供給量に合わせ、接種人数や日程を計画し、効率的に接種を実施しました。					
	事業費	左の財源内訳					
332,173,298		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
	332,173,298	0	0	0			

118	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	153,754,657	118
	事務事業名称	地域環境美化推進事業					
	事業コスト(千円)	22,937	【うち人件費 13,843      うち減価償却費 487      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市内全域						
事業の目的	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）						
	雑草が除去され、適正な管理の保たれている土地（あき地）が増加するとともに、ポイ捨て・不法投棄ごみのない、清潔で快適な環境が保たれています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	不法投棄対応件数		155	／	165	件	
	不法投棄家電回収台数		25	／	19	台	
				／			
実施内容	1 「健康都市おおぶ」みんなで美しいまちをつくる条例により地域環境美化を推進しました。						
	(1) リーフレットの配布などにより、条例の遵守及び禁止事項等の啓発を行いました。						
	(2) JR大府、共和両駅前の路上禁煙地区で環境美化専門員が監視パトロールを実施しました。						
	(3) 環境美化推進員及び環境美化指導員により地域の環境美化に係る啓発、指導等を行いました。						
	(4) 地域の環境美化活動の推進に寄与した1団体及び1名を表彰しました。						
	(5) 土地（あき地）の雑草の除去指導等を実施しました。						
	2 不法投棄対策						
	(1) 不法投棄ごみの回収及び監視パトロールを実施し、不法投棄の防止及び環境美化を図りました。						
	(2) 不法投棄禁止看板を91枚貸し出しました。不法投棄されたごみに警告シールを貼り付けました。						
	(3) 市民との協働により、自治会、アダプトプログラム活動団体等とともに地域清掃を行いました。						
(4) 一般財団法人家電製品協会の補助制度を活用し、不法投棄された家電4品目、パソコン等の回収を行いました。							
		定期収集による回収		ごみゼロ運動		不法投棄家電等回収台数	
		回収量(t)	件数(件)	回収量(t)	家電4品目	パソコン	
令和2年度		6.52	164	-	21	1	
令和3年度		3.77	151	-	10	0	
令和4年度		4.12	155	-	25	0	
3 動物死体処理							
道路上等の動物の死体回収及び処理を行いました。							
令和2年度 347件      令和3年度 352件      令和4年度 320件							
4 スズメバチ類駆除							
スズメバチ類を駆除処理した土地の所有者等に補助金を交付しました。							
補助件数：83件      補助金額：380,600円							
事業の評価	妥当性評価	「健康都市おおぶ」みんなで美しいまちをつくる条例において、市は地域の環境美化の推進に関する必要な施策を策定し、実施するものとしています。					
	有効性評価	市民や環境美化推進員との協働で、地域の美化活動や不法投棄の監視などを行うことにより、清潔で快適な環境を保つことができました。					
	効率性評価	不法投棄ごみ回収及び動物の死体処理を業務委託することで、速やかに対応することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	8,385,567	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	2,099,050	6,286,517		

119	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	153,754,657	119
	事務事業名称	環境基本計画推進事業					
	事業コスト(千円)	8,548	【うち人件費 7,447      うち減価償却費 303      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民・事業者・行政						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民・事業者・行政が協働して、環境に配慮した取組が実施されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	環境基本計画基本方針指標目標達成率		20	／	50	%	
	クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動回数		6	／	7	回	
	環境パートナーシップ会議の活動回数		19	／	5	回	
実施内容	<p>1 令和32年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ実現を見据えた第3次環境基本計画の運用及び進捗管理 計画の実行・評価・改善の仕組みに従って適切な運用を図りました。</p> <p>(1) 環境基本計画推進会議の開催：1回（6月22日）</p> <p>(2) 環境審議会の開催：2回（7月6日、3月8日）</p> <p>(3) あいちゼロカーボン推進協議会への参加 人材育成ワーキンググループに所属し、産学官のネットワーク構築と情報収集に努めました。</p> <p>2 クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動支援 鞍流瀬川・JR駅周辺を中心に地元の団体などが主導している環境保全活動を支援しました。新型コロナウイルス感染症の対策を講じて小規模エリアの活動で継続実施しました。 活動拠点：6拠点（令和2年度：9拠点、令和3年度：9拠点）</p> <p>3 環境パートナーシップ会議の協働推進 市民・事業者・行政が協働して、地域課題解決に係る活動を推進しました。</p> <p>(1) 環境パートナーシップ会議の開催：2回（6月29日、11月8日）</p> <p>(2) 主な活動内容（活動回数：19回）</p> <p>ア アサギマダラ飛来拠点プロジェクト（知多半島の各自治体、会議委員の連携） 活動内容：知多半島ネットワーク情報交換会の開催、全国アサギマダラサミットへの参加</p> <p>イ 地域施設と連携した生物多様性の啓発活動（豊田自動織機長草工場、地域施設との連携） 活動内容：ウェルネスバレー関係機関の2施設で在来種川魚の水槽展示、工場内の松ぼっくり等を幼児教育保育施設の8施設に配布</p> <p>ウ ごみ減量に係る環境講座（大府市地域婦人団体連絡協議会、あいち健康の森薬草園との連携） 活動内容：ごみ減量化、資源循環等をテーマとした環境講座を開催（2回）</p> <p>エ フードドライブ活動との連携（大府市社会福祉協議会、地域の学校との連携） 活動内容：大府市社会福祉協議会と愛知県立桃陵高等学校PTAの連携活動をコーディネート</p> <p>オ 県内自治体に向けた活動事例の発表 活動内容：愛知県市町村職員研修会及び瀬戸市の環境パートナーシップ会議にて活動を発表</p>						
事業の評価	妥当性評価	国の環境基本法に基づき策定した第3次大府市環境基本計画に定められた事業であるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市民・事業者・行政の協働による知多半島ネットワーク情報交換会の広域的な取組が評価され、全国アサギマダラサミットへの参加につながりました。					
	効率性評価	新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、各種会議の開催内容を検討し、必要な回数の会議開催とすることで安全性と効率化を図りました。					
事業費	左の財源内訳						
	660,315	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	660,315		



120	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	153,754,657	120
	事務事業名称	地球温暖化対策推進事業					
	事業コスト(千円)	47,631	【うち人件費 9,890      うち減価償却費 625      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民、事業者、本庁舎及び庁外施設の職員並びに協力団体						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民及び事業者の地球温暖化防止に関する意識が高まるとともに、一人ひとりの温暖化防止に関する取組が推進されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	温室効果ガス排出量原単位の削減率		6.8	／	-1	%	
	エネルギーの使用に係る原単位の削減率		-1.4	／	-1	%	
				／			
実施内容	1 ゼロカーボンシティの実現に向けた取組						
	<p>(1) 国の「COOL CHOICE」推進と連携した地球温暖化対策の実施          中小企業向け省エネセミナー：2回、個別相談：4社、個別訪問による支援：6社          市民向け省エネ講座：11回</p> <p>(2) 大府市シビック・エコアクション8の策定          市民向けの具体的な環境配慮行動を示した大府市シビック・エコアクション8を策定し、日常的に取り組むことができる環境配慮行動の普及促進を図りました。（10月1日策定）</p> <p>(3) ポイント制度を活用したエコアクションの推進          環境配慮行動のインセンティブとしてポイントを付与し、大府市シビック・エコアクション8の普及促進を図りました。（参加者数：477名）</p> <p>(4) 個人用次世代自動車購入費補助金制度の運用          市内において環境性能に優れた次世代自動車の普及を図り、家庭から排出される温室効果ガス排出量の抑制に加え、災害時の電力確保に努めました。          電気自動車の補助件数：43件、プラグインハイブリッド自動車の補助件数：25件</p> <p>(5) 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金制度の運用          市民が行う創エネ・省エネ・蓄エネの取組を積極的に支援し、平時の温室効果ガス排出抑制に加え、災害時のエネルギー供給等が維持できる持続可能な脱炭素社会を推進しました。          蓄電池単体の補助件数：49件</p> <p>(6) 中小企業の温室効果ガス排出量の見える化及びデータ分析による脱炭素化の推進          脱炭素化に関する動画研修及び温室効果ガス排出量見える化のトライアル支援を実施し、産業部門の温室効果ガス排出量の効果的な削減を推進しました。（参加事業所：5事業所）</p>						
事業の評価	2 エコライフ講座等の実施 緑のカーテンの育成方法と効果についての講座及び種を植えたポットの配布を実施しました。 あいち健康の森薬草園と連携した環境講座（参加者数：21名）						
	妥当性評価	急激な温度上昇による地球温暖化は、市民生活に甚大な被害が及ぶ可能性が指摘されており、取組の推進及び意識啓発は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	身近な地球温暖化対策である省エネに関する講座を実施し、さらに公共施設にも緑のカーテンを設置することにより、広く意識啓発を図ることができました。					
事業費	効率性評価	緑のカーテンの普及や省エネ講座に国や県の支援制度を活用し、コストの削減に努めました。					
	36,938,187		左の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		5,380,000	0	0	31,558,187		

120	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	120
	事務事業名称	地球温暖化対策推進事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	<p>3 公共施設における緑のカーテンの設置  緑のカーテンを公共施設に設置することにより、緑化促進を図るとともに、室内温度の上昇を抑えることで冷房にかかるエネルギー使用量の抑制を図りました。(対象施設：44施設)</p>				
	<p>4 環境マネジメントシステムの運用及び進捗管理  自己宣言方式により環境マネジメントシステムを運用しました。</p> <p>(1) 環境保全推進会議の開催：1回（6月13日）  (2) 環境基本計画推進会議の開催：1回（6月22日）  (3) 環境審議会の開催：2回（7月6日、3月8日）</p>				

121	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	153,754,657	121																												
	事務事業名称	ペット動物管理事業																																	
	事業コスト(千円)	9,642	【うち人件費 6,092      うち減価償却費 214      】																																
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 飼養犬の登録を増やすとともに、狂犬病予防注射の接種率が向上し、ペットの飼い方のマナーが向上しています。																																		
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 飼養犬の登録を増やすとともに、狂犬病予防注射の接種率が向上しています。																																		
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位																													
	狂犬病予防注射接種率		89.5	／	90	%																													
	犬のふん持ち帰り啓発看板貸与数		68	／	105	枚																													
実施内容	<p>1 犬登録システムで市内の犬の情報を適切に管理しました。</p> <p>2 狂犬病予防注射の案内通知を登録犬の飼い主に郵送するとともに、犬の登録や狂犬病予防注射の接種を広報紙や市公式ウェブサイト等により啓発しました。</p> <p>3 狂犬病予防注射の未実施犬の飼い主に、はがき(762通)や電話により督促を実施しました。</p> <p>4 愛知県獣医師会と委託契約を結び、動物病院で狂犬病予防注射と同時に登録鑑札と注射済票を交付しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録数(頭)</th> <th>新規登録(頭)</th> <th>狂犬病予防注射 接種数(頭)</th> <th>接種率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>5,000</td> <td>511</td> <td>4,389</td> <td>87.8</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5,004</td> <td>457</td> <td>4,381</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4,865</td> <td>385</td> <td>4,352</td> <td>89.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 「大府市人と犬及び猫との共生に関する条例」に基づき、犬及び猫との共生を推進しました。</p> <p>(1) 広報、市公式ウェブサイトなどで犬や猫の飼い方マナーや災害時の備えについて周知しました。</p> <p>(2) 犬のふんの放置を警告するため、市民に啓発看板の貸出をしました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸出数(枚)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 犬及び猫に対するマイクロチップ装着費の補助制度（1頭当たり1,500円）を開始しました。 令和4年度 55件（犬 28件 猫 27件）</p> <p>(4) 飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施する地域猫活動を自治区回覧版や看板設置により周知しました。</p> <p>(5) 災害時に被災した犬及び猫用のペットフードを購入し、防災倉庫に備蓄しました。</p> <p>(6) 株式会社と「災害時におけるペットフード等物資の無償供与に関する協定」を締結しました。</p> <p>(7) 猫によるふん尿などの被害を軽減するため、猫よけ器の貸出を開始しました。 令和4年度 41件</p>								登録数(頭)	新規登録(頭)	狂犬病予防注射 接種数(頭)	接種率 (%)	令和2年度	5,000	511	4,389	87.8	令和3年度	5,004	457	4,381	87.5	令和4年度	4,865	385	4,352	89.5		貸出数(枚)	令和2年度	101	令和3年度	63	令和4年度	68
		登録数(頭)	新規登録(頭)	狂犬病予防注射 接種数(頭)	接種率 (%)																														
令和2年度	5,000	511	4,389	87.8																															
令和3年度	5,004	457	4,381	87.5																															
令和4年度	4,865	385	4,352	89.5																															
	貸出数(枚)																																		
令和2年度	101																																		
令和3年度	63																																		
令和4年度	68																																		
事業の評価	妥当性評価	飼い犬の登録及び狂犬病予防接種は、狂犬病予防法により義務付けられているため、市が実施すべき事業です。																																	
	有効性評価	狂犬病の発生を防ぐためには、狂犬病予防注射が最も有効な手段です。																																	
	効率性評価	動物病院でも登録鑑札及び注射済票の交付が受けられることにより、市民の利便性の向上と事務の効率化を図っています。																																	
事業費	左の財源内訳																																		
	3,239,697	国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
		0	0	3,239,697	0																														

122	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	153,754,657	122
	事務事業名称	知北平和公園組合事業					
	事業コスト(千円)	100,777	【うち人件費 862      うち減価償却費 35      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	知北平和公園の斎場と霊園						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 滞りない火葬の実施とともに、需要に対応した墓地の提供が行われています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	負担金額		99,864	/	99,400	千円	
				/			
				/			
実施内容	1 火葬件数						
		人体（人）		動物（匹）			
		総数	大府市	総数	大府市		
	令和2年度	2,162	703	2,769	883		
	令和3年度	2,306	733	2,795	937		
	令和4年度	2,542	828	2,633	854		
	2 墓地募集						
		1次募集		2次募集			
		募集区画数	応募者数	募集区画数	応募者数		
	令和2年度	40	18	61	14		
令和3年度	30	8	51	27			
令和4年度	30	17	43	16			
3 負担金額（千円）							
	組合全体			大府市			
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	
斎場事業	170,887	194,323	189,243	61,400	70,034	68,203	
事務費	27,553	31,756	35,368	9,757	11,273	12,555	
霊園事業	34,362	37,557	53,013	12,346	13,536	19,106	
計	232,802	263,636	277,624	83,503	94,843	99,864	
4 施設整備							
(1) 斎場工事（火葬炉台車修繕工事）							
(2) 霊園工事（霊園園路舗装更新工事）							
(3) 公園工事（公園園路舗装更新工事、八角トイレ洋式化工事）							
(4) 新斎場建設基金積立金（令和4年度組合積立額 100,000千円）							
事業の評価	妥当性評価	墓地及び火葬場の運営は、公衆衛生や公共の福祉の見地から公益性及び持続性が確保される必要があるため、市（一部事務組合）で実施すべき事業です。					
	有効性評価	施設の維持補修及び墓地の整備を計画的に実施し、斎場・霊園事業を円滑に運営しました。					
	効率性評価	一部事務組合で斎場・霊園事業の運営を行うことにより、運営経費を2市1町で分割して負担しています。					
事業費	左の財源内訳						
	99,864,000	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	99,864,000		



124	款・項・目	4・1・6	目名称	公害対策費	目の決算額	6,160,694	124
	事務事業名称	公害防止協定推進事業					
	事業コスト(千円)	3,370	【うち人件費 2,743      うち減価償却費 112      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	事業所 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 公害防止協定の締結により自主的な環境対策の取組を促進し、公害の発生が防止されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	公害防止協定締結事業所等調査の適合率		93.4	／	100	%	
	公害防止協定締結事業所から発生する公害苦情		0	／	0	件	
				／			
実施内容	1 公害防止協定締結事業所への調査						
	(1) 公害防止協定締結事業所に、定期調査を実施しました。 調査内容 (1) 重油中の硫黄分調査（使用事業所がないため0社） (2) 工場排水水質調査（14社）年2回（7月・1月） (3) 騒音調査（33社）年1回（6月） (4) 振動調査（対象となる新規事業所がないため0社）  協定値適合率                    [R2年度92.0%   R3年度90.3%   R4年度93.4%] 内訳 (1) 重油中の硫黄分調査   [R2年度未実施   R3年度未実施   R4年度未実施] (2) 工場排水水質調査     [R2年度90.0%   R3年度90.0%   R4年度96.4%] (3) 騒音調査                [R2年度93.9%   R3年度90.6%   R4年度90.9%] (4) 振動調査                [R2年度未実施   R3年度未実施   R4年度未実施]						
事業の評価	(2) 協定値を超過している事業所に改善を指導し、公害発生の防止を図りました。 公害防止協定締結事業所から発生する公害苦情件数 [R2年度 1件      R3年度 1件      R4年度 0件]						
	妥当性評価	公害防止協定の締結により事業所の自主的な環境対策を促し、公害の発生や苦情を未然に防ぐことができるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	公害防止協定締結事業所に対して各種調査を実施し、協定値を超過している事業所を指導することにより、公害発生の低減に努めることができました。					
事業費	464,440	左の財源内訳					
		国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	464,440		

125	款・項・目	4・1・6	目名称	公害対策費	目の決算額	6,160,694	125
	事務事業名称	水質環境保全事業					
	事業コスト(千円)	3,508	【うち人件費 2,300      うち減価償却費 90      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 下水道等未整備区域を中心とした市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 河川等の汚濁状況の認識を深め、家庭でできる生活排水対策を実施することにより、家庭からの生活排水の汚濁が防止されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	合併処理浄化槽設置費用補助基数		2	／	10	基	
	合併処理浄化槽法定検査結果に基づく勧告件数		185	／	126	件	
				／			
実施内容	1 公民館まつり等のイベントにおいて、啓発グッズの配布やパネルの展示による生活排水対策を啓発しました。						
	2 市公式ウェブサイトによる啓発を実施し、くみ取り便槽の使用者に合併処理浄化槽設置事業費補助金の案内を送付しました。						
	3 単独処理浄化槽又はくみ取り便槽を廃止して、合併処理浄化槽を設置する市民に対し補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図るとともに、生活環境の保全及び環境衛生の向上を図りました。						
	(1) 補助金交付実績 補助基数 R2年度：3基、R3年度：6基、R4年度：2基 補助金交付 R2年度：600,000円、R3年度：1,260,000円、R4年度：1,008,000円 (2) 補助金単価 5人槽：332,000円、6～7人槽：414,000円、撤去費：90,000円						
事業の評価	4 合併処理浄化槽法定検査結果に基づく勧告 一般社団法人愛知県薬剤師会から浄化槽管理者へ適正管理を勧告しました。 勧告件数 7条検査：37件、11条検査：185件						
	妥当性評価	合併処理浄化槽の設置を促進することは、水路や河川などの公共水域の水質を保つことができるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進することにより、生活環境の保全及び環境衛生の向上に寄与することができます。					
事業費	効率性評価	下水道未普及地域では、合併処理浄化槽を設置することにより、効率的に生活排水を浄化することができます。					
	1,077,679		左の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		377,000	0	0	700,679		

126	款・項・目	4・1・7	目名称	健康都市推進費	目の決算額	11,458,693	126
	事務事業名称	健康都市推進事業					
	事業コスト(千円)	32,545	【うち人件費 22,785      うち減価償却費 1,434      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民及び市域 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 健康づくりに取り組む市民、企業、地域が増え、「健康都市おおぶ」としてまちが活性化しています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	「健康都市おおぶ」推進会議回数		2	/	2	回	
	企業チャレンジ登録事業所数		77	/	75	事業所	
実施内容	1 「健康都市おおぶ」推進会議の開催 (1) 内容 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プランの進捗管理、健康プログラムの実施、健康経営の推進及び地域包括ケア推進ビジョンの普及啓発並びに新型コロナウイルス感染症対策等に関して意見を聴取しました。 (2) 開催回数 R2年度：2回、R3年度：2回、R4年度：2回 2 WHO健康都市推進会議の開催 (1) 内容 高血圧を予防し、血圧を適切にコントロールできるまちづくりを目指し、子ども・若者を含めた全世代を対象とした高血圧対策の取組について検討、整理しました。 (2) 開催回数 R2年度：1回、R3年度：1回、R4年度：2回 3 健康都市連合加盟団体等との交流・情報交換 (1) 健康寿命延伸都市協議会総会・大会の開催 厚生労働省「健康寿命を延ばそう！アワード」受賞自治体で構成される協議会の総会・大会をオンラインで開催し、認知症施策に関する講演と、加盟都市間の情報交換を行いました。 (2) 健康都市連合日本支部総会・大会 11月24日に大阪府泉佐野市で開催された第18回健康都市連合日本支部大会において、WHO表彰を受賞した本市の運動分野の取組について、事例発表を行いました。総会は書面開催となりました。 4 健康都市や地域包括ケアシステムに関する総合的な企画及び調整の実施 (1) 健康経営の推進 連携協定締結先である大府商工会議所及び全国健康保険協会(協会けんぽ)愛知支部と、共催セミナー及び交流会を開催したほか、メルマガや広報、企業への個別訪問等で啓発を実施しました。 健康経営優良法人認定数(本社が大府市の法人) R2年度：21社、R3年度：29社、R4年度：28社 (2) 大府市健康プログラムの実施 スポーツ庁の補助金を活用し、市内企業等と連携して大府市健康プログラムを実施しました。 ア プログラム参加者数 R2年度：833人、R3年度：605人、R4年度：592人 イ 実施内容 チーム対抗歩数イベント、新居浜市(交流都市)との合同歩数イベント、測定会や健康相談・健康情報配信による継続支援、健康プログラムを活用した健康経営推進						
	事業の評価	妥当性評価	健康都市や地域包括ケアの推進のため、事業者や地域組織、関係団体等と連携しながら、必要な施策を検討し、総合的な企画調整を実施することは、「健康都市おおぶ」を実現するために必要な事業です。				
	有効性評価	産学官連携による「子どもの近視予防プロジェクト」では、大学の知見や企業のノウハウ等を生かし、効果的な事業展開ができました。					
	効率性評価	大府市健康プログラムはスポーツ庁補助金を活用し、市の負担を最小限に抑えて事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	11,458,693	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		8,932,000	0	2,012,200 (基金1,246,000)	514,493		



126	款・項・目	4・1・7	目名称	健康都市推進費	126
	事務事業名称	健康都市推進事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	<p>(3) 大府市子どもの近視予防プロジェクトの展開 産学官連携により、小学1～3年生の親子100組に向けて、専門的な目の測定会と目に優しい生活のための取組支援を実施したほか、セミナーや講演会の実施、年長児から小学6年生までを対象としたリーフレット配布等により、広く目の健康を守るための啓発を行いました。</p> <p>(4) 認知症に関する普及啓発 9月の世界アルツハイマー月間に、市庁舎及びOBUオレンジリングモニュメントをライトアップし、市民健康ロビーに啓発用横断幕を設置しました。</p> <p>5 至学館大学と連携したPCR検査事業費の補助 新型コロナウイルス感染症の罹患者が発生した高齢者・障がい者施設や幼児教育保育施設等において、早期に感染者を把握し、更なる感染拡大を防ぐため、PCR検査実施に係る費用に対する補助を行いました。 検査実施費用補助実績 R2年度：67件、R3年度：712件、R4年度：445件（検査件数）</p>				

127	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	1,000,965,429	127	
	事務事業名称	ごみ減量化推進事業						
	事業コスト(千円)	8,213	【うち人件費 5,095      うち減価償却費 207      】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）							
	市民から排出されるごみ							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 4Rの推進により、ごみの減量が図られています。							
評価指標	指標名			令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	家庭系ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量			497	／	505	g/人・日	
	事業系ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量			112	／	125	g/人・日	
実施内容	1 ごみの減量と資源の分別について、小学校4年生及び婦人会役員等を対象に環境学習出前講座を20回実施しました。							
		環境学習出前講座対象 小学4年生(人)	地域等の出前講座(人)	合計(人)				
	令和2年度	0	70	70				
	令和3年度	959	55	1,014				
	令和4年度	981	223	1,204				
2 生ごみの減量化施策として、生ごみたい肥化容器の購入補助を行うとともに、アスパ（EMボカシ）を毎月15日から月末まで各公民館、石ヶ瀬会館、市役所で市民に無料で配布しました。								
		生ごみたい肥化容器補助		アスパ配布数				
		基数(基)	補助額(円)	(袋)				
令和2年度	28	61,000	16,775					
令和3年度	28	56,200	19,250					
令和4年度	25	43,700	20,550					
3 ごみの分別の徹底や減量化に役立てるため、家庭から出されるごみの組成調査を2回（可燃、不燃）実施しました。（燃やせるごみに含まれる資源の割合 24.2%、燃やせないごみに含まれる資源の割合 10.5%、燃やせるごみに含まれる未開封食品等の割合 2.7%）								
4 一人1日当たりのごみ（資源除く）の排出量（g/人・日）								
		家庭系	事業系	合計				
令和2年度	535	115	650					
令和3年度	532	112	644					
令和4年度	497	112	609					
事業の評価	妥当性評価	ごみ処理施設の処理能力や最終処分場の埋立容量には限度があるため、ごみの減量化を推進することは、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	循環型社会を構築するためには、従来の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に加えて、リフューズを加えた4Rの推進によりごみの減量を進めることが重要です。						
	効率性評価	小学校や地域等において、出前講座を行うことにより、多くの市民にごみ減量に関する正しい知識を伝えることでごみの減量につながりました。						
事業費	左の財源内訳							
	2,817,100	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	0	2,817,100			

127	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	127
	事務事業名称	ごみ減量化推進事業			
	事業コスト(千円)				
実施内容	<p>5 公民館の料理講座講師の協力により、食材を無駄にしないエコクッキングレシピを1品開発し、市公式ウェブサイトへ掲載しました。</p> <p>また、フードドライブ活動を行っている団体や自治区と連携し食品ロスの削減につなげました。</p> <p>6 石ヶ瀬川にごみ回収用ネットを試験的に設置し、その調査結果を環境出前講座及び市公式ウェブサイトに掲載して啓発しました。</p>				

128	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	1,000,965,429	128
	事務事業名称	資源回収事業					
	事業コスト(千円)	162,937	【うち人件費 5,827      うち減価償却費 233      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民・事業者から排出される資源						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民の協力を得て分別回収を推進し、資源回収量が増加しています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	出前講座（環境学習）受講者数		1,204	/	947	人	
	家庭系可燃ごみにおける資源の混入割合		24.2	/	21	%	
				/			
実施内容	1 資源回収						
	(1) 市内468か所の地域の資源回収ステーションと8か所の公共資源ステーションで資源回収を実施しました。						
	(2) 自治区、自治会等に資源の当日出し及び月2回収の実施を呼び掛けました。						
	(3) 公民館、児童老人福祉センター等市内71か所で使用済乾電池を回収し資源化しました。						
	(4) 資源回収業者、自治区、警察等と情報を共有し、資源の持ち去り監視強化を啓発しました。						
	(5) 各公民館、石ヶ瀬会館及び市役所で使用済小型電子機器等を回収しました。また、アフターメダルプロジェクトとして社会福祉法人等と連携し携帯電話を回収しました。						
	(6) 市役所及び公共資源ステーションでペットボトルキャップの回収を実施しました。						
	(7) 共長公民館で羽毛ふとんをイベント回収しました。						
	(8) 横根地区全域で家庭系生ごみ分別収集モデル事業を実施しました。						
	家庭系資源回収量等実績						
		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	総回収量	t	4,003	3,969	3,777		
	紙類	t	2,010	1,994	1,908		
	鉄類	t	185	176	174		
	ペットボトル	t	172	178	183		
	プラスチック製容器包装	t	334	352	364		
	びん類	t	643	585	504		
	乾電池	t	18	18	18		
	新聞販売店自主回収	t	618	649	612		
	小型電子機器等	t	23	17	14		
	資源再利用推進報償金	円	11,254,800	13,062,460	11,880,718		
事業の評価	妥当性評価	循環型社会形成推進基本法により、地方公共団体は循環資源について適正に循環的な利用及び処分が行われることを確保するために、必要な措置を実施することとされていることから、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	資源循環を促進することにより、天然資源の消費が抑制され、環境に与える負荷が低減できます。					
	効率性評価	自治区や班、組等へ資源再利用推進報奨金を支出することで、地域の資源回収を効率的に実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	156,771,329	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	21,142,930	135,628,399		

128	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	128
	事務事業名称	資源回収事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	<p>2 4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の啓発</p> <p>(1) 自治区単位でリサイクル関連施設の視察会を実施しました。</p> <p>(2) 小学校4年生を対象とした環境学習及び地域、団体等からの要望により、ごみや資源に関する出前講座を実施しました。</p> <p>(3) ちらし、広報、市公式ウェブサイトなどで資源の正しい分別方法を啓発しました。</p> <p>(4) 自治会加入世帯には地域の資源回収ステーションを、アパートなどの単身世帯や自治会未加入者には公共資源ステーションを利用するよう啓発し、資源回収量の増加及び家庭系可燃ごみにおける資源の混入割合の減少を図りました。</p> <p>(5) 産業文化まつりで4Rの啓発イベントを実施しました。</p> <p>3 アフターメダルプロジェクトの推進</p> <p>(1) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」のレガシーを引き継ぎ、アフターメダルプロジェクトとして、社会福祉法人や企業と連携し、携帯電話回収を推進しました。</p> <p>(2) 令和8年度に愛知県で開催される第20回アジア競技大会の入賞メダルにリサイクルメダルが採用されるよう、愛知県及び大会組織委員会に働きかけを行いました。</p>				

129	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	1,000,965,429	129	
	事務事業名称	東部知多衛生組合事業						
	事業コスト(千円)	842,290	【うち人件費 862      うち減価償却費 35      】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） ごみ、し尿・浄化槽汚泥の処理施設と余熱利用としてのプール 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 施設の適正運用を図るとともに、新施設への更新が進んでいます。最終処分場が供用開始されています。							
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位		
	負担金額		841,377	／	871,108	千円		
				／				
実施内容	1 議会の開催 定例会 2回  2 修繕工事 クリーンセンター 2件、浄化センター 7件、温水プール 1件、大東処分場 1件  3 クリーンセンター、浄化センター、温水プールの運営状況							
			組合全体		大府市			
		R2	R3	R4	R2	R3	R4	
実績（t）	クリーンセンター	焼却処理量	53,586	52,053	51,932	21,109	20,879	20,445
		破碎処理量	2,221	1,961	1,686	982	915	765
実績（t）	浄化センター	し尿処理量	3,413	3,091	2,988	1,224	1,034	969
		浄化槽汚泥処理量	37,015	38,237	36,848	14,096	14,358	14,116
温水プール利用者数（人）			14,921	23,387	37,246			
4 負担金額（千円）		組合全体		大府市				
		R2	R3	R4	R2	R3	R4	
し尿関係		223,056	214,301	226,377	82,745	81,536	85,401	
ごみ関係		1,012,259	1,214,641	1,855,705	385,219	469,119	723,088	
温水プール関係		73,240	67,519	63,605	37,878	35,048	32,888	
計		1,308,555	1,496,461	2,145,687	505,842	585,703	841,377	
事業の評価	妥当性評価	一般廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務と規定されているため、市（一部事務組合）で実施すべき事業です。						
	有効性評価	収集したごみ、し尿及び浄化槽汚泥を適正かつ安定的に処理することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができました。						
	効率性評価	一部事務組合でごみ処理施設等を運営することにより、運営経費を2市2町で分割して負担しています。						
事業費	左の財源内訳							
	841,377,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	0	841,377,000			

130	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	目の決算額	287,082,257	130
	事務事業名称	廃棄物収集処理事業					
	事業コスト(千円)	264,414	【うち人件費 5,785      うち減価償却費 233      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民から排出されるごみ						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 迅速かつ適正に収集されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	午前中回収の未完了件数（平常時）		0	/	0	回	
	違反ごみへの警告シール貼付数		5,095	/	4,300	枚	
				/			
実施内容	1 ごみ収集						
	(1) 継続的かつ安定的なごみ収集を実施しました。						
	家庭系収集ごみの量（直接搬入ごみを除く）						
		燃やせるごみ (t)	燃やせないごみ (t)	合計 (t)	前年度比 (%)	一人1日当たり (g/人・日)	
	令和2年度	16,263	774	17,037	2.37	502	
	令和3年度	16,188	745	16,933	△0.61	500	
	令和4年度	15,231	611	15,842	△6.44	467	
	(2) ごみの排出ルール及び分別方法を、ごみ資源案内の冊子、市公式ウェブサイト及び広報により啓発しました。						
	(3) 違反ごみに警告シールを貼り付けし、違反者へのごみ出しルールの周知を図りました。 令和2年度 3,776枚    令和3年度 3,872枚    令和4年度 5,095枚						
	(4) ごみ収集場所の新設、移設及び分散化について、市民や開発業者と協議を行い対応しました。						
(5) ごみ収集に関する苦情に対し、委託業者と連携して、迅速な対応を図りました。							
(6) ごみの量が多いゴールデンウィークや年末年始を除き、午前中にごみ収集を完了しました。							
(7) 粗大ごみの戸別収集を実施しました。 令和2年度 781個    令和3年度 757個    令和4年度 716個							
2 指定ごみ袋の供給							
指定ごみ袋を取扱店を通じて販売し、市民に安定的に供給しました。							
指定ごみ製造原価（単位：円/10枚・税抜き）							
	大(45ℓ)	中(30ℓ)	小(20ℓ)				
令和2年度	66	46	34				
令和3年度	157	111	95				
令和4年度	176	140	118				
事業の評価	妥当性評価	一般廃棄物の収集及び処理は、廃棄別の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務と規定されているため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	午前中にごみを収集することで、ごみの散乱や不法投棄などを抑制し、生活環境を良好に保つことができました。					
	効率性評価	人口の増加や宅地開発によりごみ収集場所が増加していますが、民間のノウハウを活用することにより効率的な収集を行うことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	258,290,600	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	258,290,600		

130	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	130
	事務事業名称	廃棄物収集処理事業			
	事業コスト(千円)				
実施内容	<p>3 バイオマス産業都市構想</p> <p>横根地区の家庭系生ごみを分別収集して、バイオガス発電施設に搬入しました。</p> <p>半田市及びビオクラシックス半田と、バイオガス施設の取組や課題について意見交換を行いました。</p> <p>市内の保育園、小中学校の給食残渣や市外の民間事業者からの搬入を促進しました。</p>				



131	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	目の決算額	287,082,257	131
	事務事業名称	し尿収集処理事業					
	事業コスト(千円)	34,543	【うち人件費 5,435      うち減価償却費 217      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市内のくみ取り世帯等で発生するし尿 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 適正に収集し、処理されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	現年度分の収納率		99.7	/	99	%	
	滞納繰越分の収納率		100	/	90	%	
				/			
実施内容	1 し尿収集運搬 下水道・浄化槽に未接続の家庭や事業所のし尿を収集し、浄化センターへ運搬しました。						
		定額制平均世帯数 (世帯)	従量制月平均本数 (本：1本は36ℓ)				
	令和2年度	237	2,096				
	令和3年度	228	1,822				
	令和4年度	213	1,694				
	2 し尿清掃手数料の徴収 滞納者に対して督促状を6回、催告書を2回送付するとともに、電話督促や訪問徴収を行いました。						
	(1) 現年度分						
		調定額(円)	収入額(円)	収納率(%)	口座振替 実施件数(件)		
	令和2年度	10,080,540	10,013,302	99.3	2,001		
	令和3年度	8,748,133	8,719,337	99.7	1,941		
令和4年度	8,300,767	8,272,119	99.7	1,805			
(2) 滞納繰越分							
	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	収納率(%)		
令和2年度	143,872	143,872	0	0	100		
令和3年度	67,238	67,238	0	0	100		
令和4年度	28,796	28,796	0	0	100		
3 し尿収集車の脱臭管理を適切に行い、し尿の収集時に発生する悪臭を抑えることができました。							
事業の評価	妥当性評価	し尿の収集及び処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務とされているため、市が処理すべき事業です。					
	有効性評価	し尿を適正に収集し、処理することは、衛生的な生活環境を保全するために有効です。					
	効率性評価	民間事業者に収集運搬を委託することにより、効率的に事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	28,791,657	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	8,300,915	20,490,742		

132	款・項・目	4・3・2	目名称	上水道給水事業費	目の決算額	196,431,871	132
	事務事業名称	水道事業補助事業					
	事業コスト(千円)	196,994	【うち人件費 538      うち減価償却費 23      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	水道事業 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 健全な状態を維持します。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	／	令和4年度計画値	単位	
	補助金額		196,432	／	200,000	千円	
				／			
				／			
実施内容	<p>コロナ禍における物価高騰対策として、市民や企業の経済的な負担を軽減するために実施した水道料金の基本料金の免除に要した費用として、水道事業会計に補助金を交付しました。</p> <p>1 免除の対象 市内で水道を利用している世帯及び事業者</p> <p>2 免除の期間 令和4年9月検針分から令和5年2月検針分まで（6か月分）</p> <p>3 免除した件数 (1) 9・10月検針分：35,269件 (2) 11・12月検針分：35,257件 (3) 1・2月検針分：35,114件</p> <p>4 補助対象経費及び補助額 (1) 免除した基本料金      194,781,871円 (2) 事務に要した経費      1,650,000円</p>						
事業の評価	妥当性評価	企業会計である水道事業の健全な経営状態を維持するため、コロナ禍における物価高騰対策として実施する水道料金の免除に必要な財源を確保することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	水道料金の基本料金を6か月分免除することにより、市民や企業の経済的な負担を迅速かつ広範囲に軽減することができました。また、事業内容を市内外に広くPRすることにより、本市のシティプロモーションにも繋がりました。					
	効率性評価	料金システムを改修することにより、効率的に事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	196,431,871	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		186,465,000	0	9,966,871 (基金9,966,871)	0		